

ダイアボンド No.8200 (一般用中粘度・速硬化瞬間接着剤)

ダイアボンドNo.8200は α -シアノアクリレート系接着剤で、広範な材料に接着可能な無溶剤の一液形化学反応性接着剤です。

§ 特長

1. 汎用的で標準とされる瞬間接着剤です。
2. 曳糸性が少なく、塗布が容易です。
3. 短時間で強力に接着します。
4. 金属、ゴム、プラスチックなどの接着が可能です。
5. 木材などの多孔質のものでも接着が可能です。

§ 用途

1. 金属、ゴム、プラスチック、木材などの同種または異種の接着
2. 各種部品の仮止め接着

☆被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主成分	エチルシアノアクリレート
外観	無色透明
反応分 (%)	100
粘度 (mPa·s) at20℃	200 ~ 300
保証期間 (月) at 5℃	12
引火点 (℃)	80

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。接着面は、密着できるよう、平滑にします。
2. 接着 片面に少量接着剤を滴下し、素早く他の接着面とあわせ、指または手で押えます。

§ セットタイム（接着後、0.5 MPa の力で引張っても被着材が動かなくなるまでの時間）

被着材	セットタイム (秒)
クロロプレングム	15 ~ 20
スチレンブタジエンゴム	15 ~ 20
ニトリルゴム	15 ~ 20
A B S 樹脂	20 ~ 30
硬質塩化ビニル樹脂	20 ~ 30
アクリル樹脂	20 ~ 30
鋼 板	20 ~ 40
ステンレス鋼板	20 ~ 40
ラワン合板	20 ~ 40

§ 接着強さ

引張りせん断接着強さ (MPa)

被着材	常態	48 時間後
クロロプレングム	4 *	
スチレンブタジエンゴム	5 *	
ニトリルゴム	6 *	
A B S 樹脂	6 *	
硬質塩化ビニル樹脂	7 *	
アクリル樹脂	9 *	
鋼 板	18	
ステンレス鋼板	16	
ラワン合板	8 *	

* : 材質破壊

試験方法 : JIS K 6850 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 接着剤は塗布量が多過ぎると接着速度が遅くなる上に、所定の接着力が得られなくなります。
- ・ 容器に穴を開ける時は、ノズル先端を顔に向けないようにして下さい。
- ・ 作業に当たっては、目に入らないように保護メガネなどを着用して下さい。
- ・ この接着剤は皮膚を瞬間に接着するため、皮膚につけないよう十分に注意して下さい。
- ・ あやまって指などを接着したときは、お湯の中でゆっくりもみほぐしながらはがすか、瞬間接着剤はがし液を使用して下さい。
- ・ 万一眼に入った時は、すぐに大量の水で洗眼し、必ず医師の手当を受けて下さい。無理にはがそうとしたり、目をこすったりは絶対しないで下さい。
- ・ 取扱い作業中には換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 布、皮などの手袋や着衣などに多量に浸み込んだ場合、急激に発熱して火傷することがありますの

で注意して下さい。

- ・ 使用後は、必ず密栓して直射日光の当たらない場所に、湿気ならびに塩基性物質（硬化促進剤、アミンなど）を避けて保管して下さい。また、長期保管される時は冷蔵庫（5℃）で保管して下さい。
- ・ 廃棄するときは、容器を密封して、産業廃棄物（燃えないごみ）として処理して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第三石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅲ）に該当。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。